



鳩巣

足近小学校だより 令和3年3月22日

足近小学校の教育目標

なかよく かしくく たくましく

— 気づき、考え、行動できる子 —

教育活動アンケートへのご協力ありがとうございました

【Ⅰ 学校の取り組みについて】（※長子のみ記入）

	アンケート内容	A	B	C	D
1	学校は、教育目標（なかよく かしくく たくましく）の具現をめざし、職員一丸となって取り組み、成果をあげつつある。	46%	51%	3%	0%
2	本校の伝統・生活習慣づくりの柱である「足近の合言葉（あいさつ・時間・掃除）」は、子供の姿・校風となって現れている。	41%	54%	5%	0%
3	学校は、基礎学力向上のために、学習習慣の定着や一人一人に応じたきめ細かい指導・支援をしている。	45%	49%	6%	0%
4	学校は、不登校・学級崩壊・いじめのない学校づくり、子供の人権を尊重する指導・支援にあたっている。	49%	47%	3%	1%
5	学校は、学校便り・授業公開・家庭への連絡等、保護者との意思疎通を積極的に行い、開かれた学校をめざしている。	50%	49%	1%	0%
6	学校訪問時等、職員の対応は誠意があり、好意的である。	60%	39%	1%	0%
7	学校は、地域の学校として地域社会の願いに応えようとしている。	49%	50%	1%	0%
8	学校は、教室等が整えられ、学びやすい環境になっている。	55%	42%	3%	0%

【Ⅱ 家庭の取り組みについて】（※長子のみ記入）

1	わが家では、あいさつ・時間・お手伝い・早寝・早起き・朝ごはん等、基本的なしつけ・生活習慣に対して、こだわって実践している。	24%	71%	5%	0%
2	わが家では、授業参観やPTA活動に積極的に参加し、PTA会員として学校教育に貢献している。	40%	50%	9%	1%
3	わが家では、食事や団らん等、子供とのふれあいを大切にして、家族のコミュニケーションに心がけている。	56%	41%	2%	1%
4	わが家では、子供に生命を大切にする心や社会的ルールを守る態度を育てようとしている。	61%	36%	2%	1%
5	わが家では、学習や復習などの家庭学習の習慣が身につくようにしている。	30%	57%	13%	0%

【Ⅲ 学級の取り組みについて】（※それぞれのお子さんについて記入）

1	わが子は、学校で友達となかよく過ごし、学校生活が楽しいと言っている。	58%	35%	7%	0%
2	わが子は、授業が楽しくわかりやすいと感じている。	40%	48%	11%	1%
3	先生は、子供のよさを見つけ、伸ばそうとしている。	60%	33%	7%	0%
4	先生は、子供や保護者の話に耳を傾けて、相談に温かく適切に応じ、家庭と連携した指導・支援をしてくれている。	61%	35%	4%	0%

【Aよくあてはまる、Bややあてはまる、Cあまりあてはまらない、D全くあてはまらない】

教育活動アンケートに回答をいただき、ありがとうございました。集計の結果を見ますと、学校の取り組みについて、どの項目も「Aよくあてはまる」「Bややあてはまる」を合わせると、85%を超える評価をいただきました。昨年度と比べましても、「Aよくあてはまる」と回答いただいた方が増えています。このことは、学校が行ってきた教育活動に対して、多くの方にご支持をいただいていると捉えています。

中でも、「学校訪問時等、職員の対応は誠意があり、好意的である。」「先生は、子供のよさを見つけ、伸ばそ

うとしている。」「先生は、子供や保護者の話に耳を傾けて、相談に温かく適切に応じ、家庭と連携した指導・支援をしてくれている。」の項目については、60%以上の方が「Aよくあてはまる」と回答いただきました。これらの項目は、日頃から職員一同、心がけてきたことであり、今後も一層、努力したいと考えています。

ただ、「本校の伝統・生活習慣つくりの柱である『足近の合言葉（あいさつ・時間・掃除）』は、子供の姿・校風となって現れている。」「学校は、基礎学力向上のために、学習習慣の定着や一人一人に応じたきめ細かい指導・支援をしている。」「わが子は、授業が楽しくわかりやすいと感じている。」の3項目については、「Aよくあてはまる」と回答した方が、45%以下であったことは、重く捉えています。

挨拶について、「登下校の際、元気よく挨拶をしてくれる子が多く、とても気持ちがいいなと思っています。一方、こちらから挨拶をしても恥ずかしいのか返事がないと心配になる子もいます。」とご意見をいただきました。このことは、児童会の計画委員会が中心となって「ほかほかレター」で気持ちのよい挨拶ができた児童を紹介したり、教頭が挨拶をすることの意味や値打ちをお昼の放送で伝えたりしていますが、まだまだ不十分であると捉えています。今後も引き続き指導していきたいと考えています。

また、「コロナで授業が遅れ、こなしていくのが精一杯で、子供はあまり理解していないように思います。」とご意見をいただきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学習形態に制限があり、従来通りの学習ができなかったこともあります。大きな課題であると考えています。今年度、教室にスクリーンとプロジェクターが設置され、タブレット端末（PC）も導入され、授業でICTを活用することができる環境が整ってきました。まずは、ICT機器を効果的に利用していくために、ICT活用の職員研修を続けていくなど、児童が、分かった、できた実感できる授業を作っていくよう努力していきます。

その他、いくつかのご意見をいただきました。

○「担任の先生には子供のことを真剣に見ていただけて、とても感謝しています。学校での様子や性格などを把握してくださり、対応していただけることで、学校へ安心して送り出すことができます。電話や連絡帳への返答を忙しいにもかかわらず対応してくださりありがとうございます。今後ともよろしく願います。」（他数名）

→日々、一人一人の子供を大切に精一杯取り組んでいるところです。今後も続けていきます。

○コロナで全ての事がダメとなっている今、子供がかわいそうです。外で遊ぶのもいいと思います。ボール遊び等も軍手などをしてやらせてもらいたいです。勉強も大切ですが、やっぱり学校は友達あつての学校なので、三密に気を付けながらも子供たちに任せて生活していくのもありかと思えます。

→児童が安全、安心に生活できることを第一に考え、文部科学省から出ている基準を参考に、対策を取ります。

その上で、児童に任せられるところは任せていきます。

○家庭では子供たちの登下校の見守りを自主的に行っていますが、下校時（特に上級生がいない時）は団を組まず、バラバラと道全体に広がって歩いている姿をよく見かけます。また、上級生がいるときでも仲の良い友達と固まって歩いており、下級生の見守りができていないように感じます。そのためか、下校時のけがが多いようです。

→定期的にリーダー指導を行っており、気になる姿は指導しています。今後は、集団下校の時に、繰り返し全校児童へ指導します。

○コロナで行事が全然できなかったのも、クラスのまとまり、協調性があまりないように思います。（中略）高学年としての自覚が足りないのも、低学年への悪影響が懸念されます。

→たてわり活動等、上級生の自覚をもつことができるような指導を行います。

○校内の資源回収の場所がもっと道路に面している場所にあれば、地域の人が持って行きやすいのではないかと。

→資源がぬれると引き取ってもらえなくなります。現在は、今の場所が適切かと考えています。

○登校時に旗当番として学校北側の横断歩道に立っていますが、ここを通過する班がいくつあるか毎年知らされておらず困っています。年度の初めに知らせていただけるようにしてほしいです。

→登校指導する場所を教えてください、通学班の数をお教えします。

○授業参観が同じ地区で区切られたので、違う地区の方が他の保護者の方の顔を覚えられるのではないかと思います。

→新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、PTAの方とできる限りの方法を相談していきます。

○PTAや地域の役員を決めるとき、仕事内容がわからず困りました。人数が少ない学年は、2回目の役員になることも出てくるのではと心配しています。

→PTA役員へ伝え、相談していきます。

先行きが見えない、今までには例のない年になってしまいましたが、保護者の皆様には、毎日の健康観察等、学校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、大変感謝しています。何より、一人一人の児童が今年度大きく成長してくれたことがとてもうれしく思っています。1年間、どうもありがとうございました。

※本日、令和3年度の行事予定表（3月22日現在）を配付しました。お役立てください。